

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和5年 6月13日（火） 発行人：校長 森内 秀学

「間引き」の作業で命を学ぶ

「間引き」という言葉をご存じでしょうか。密集した苗の中から元気のよいものを残し、残りを引き抜く作業のことです。日当たりや栄養、病害虫に対するその効果は頭では分かりますが、種をまき、水をやり、やっと出た芽を摘み取るのは、大人でも気が引けるものです。

早速、その場面に立ち会ったのが、アサガオ育て真っ最中の1年生。担任が間引きの説明をした時の悲しそうな反応と言ったら…。

でも、大丈夫。1年生の担任は、プランターを用意し、「小さな苗を広い場所にお引越しさせ、もっと元気になるよう育てる」という作戦をとりました。おかげで子どもたちは、元気な苗を自分の鉢に残し、残りの苗を安心して移し替えることができました。

今週土曜日から「心を見つめる教育週間」が始まります。でも、特別な週間でなくても、命を大切にする学びは、日常の学習の中にたくさん隠れています。



平和パネル展示～原爆の被害から命の尊さを学ぶ～

2階の多目的室には、原爆の被害にまつわる写真や詩などが展示されています。これまでも長崎の子どもたちは、原爆を通して戦争と平和を学んできましたが、そこは、時代が変わっても決して外せないところです。戦争になると命の重さは変わってしまうのか？そんな怒りが湧く平和パネル。6/17の土曜授業の際に、ぜひご覧ください。

税金の使われ方を学ぶ～「租税教室」～

いつの間にか払っている「税金」。子どもは謎だらけです。何に使われているのか、公平なのか…。6年生は、「租税教室」でそれらを学びました。「集めたお金は正しく使ってほしい」。こんな感想は、もう立派な主権者の一員です。



【教科書採択に係る教科書巡回閲覧について（お知らせ）】

今年度は、令和6年度から使用する小学校教科書採択の年です。そこで、6月12日から6月30日まで、新しい教科書の見本を本校で展示しています。展示場所は、1階の1年生教室の横の、多目的室です。土曜授業の際など、学校にお越しの際は、ぜひご覧いただきますとともに、お気づきがありましたら、アンケートの記入にご協力ください。

